

98年度平成維新を実現する都民の会活動方針

平成維新を実現する都民の会代表 治田桂四郎

生活者主権を確立する為に下記の活動を展開する。

1. KANプロジェクトの支援
2. 当会が推薦し、当選された議員等の活動に対するモニターを行う。方法は、定期的に（議会毎に）報告をしてもらう。
3. 当会の考えに近い議員や首長の推薦、支援。又、来春の地方選や次期衆議院議員選挙には、注力する。
4. 情報公開に関する知識の習得と実践（請求、監

査請求、訴訟）他に国の情報公開法のチェック、都の情報公開条例改定のチェック。

5. 会の名称を変える方向で検討し、会則改定を含め、年内に結論を出す。
6. 過去の活動実績と上記の活動方針をPRして、会員増を図る。出来れば、300人まで戻したい。（PR用パンフレットを早く完成し、活用する。又、生活者通信も活用する。）
7. その他。

『菅政権』の政策を考えよう！

KANプロジェクト特別委員会委員長 小俣一郎

- ①. ビラ配りを行い、「KANプロジェクト」への賛同者を増やすとともに、KANプロジェクトの知名度を上げる。
- ②. 「菅直人政権チーム」を政党側と対等の立場で支える市民ネットワーク（菅ネット）を形成し、政権政策作りや候補者擁立にも参画する」ことをめざしている、本部事務局をサポートする。

☆☆☆

“菅直人を「私たちの首相候補」に指名しよう運動”（略称・KANプロジェクト）を支援する目的で設置された本委員会は、現在、上記の内容を二本の柱として活動しています。

①につきましては9月号のP4・P11でもご案内しているように、杉原さんを中心に、すでに具体的に実行しております。ちなみに、9月は毎日曜日の午後4時より5時まで、池袋駅西口周辺において行いました。

今後も機会を見て、続けていきたいと思っています。

また、②につきましては、参議院選挙後の本部事務局の方向がまだ固まっていないので、具体的な進展は現時点（9月上旬）ではありませんが、「自民党政権に対抗できる政権選択肢を確立し、「政権交

代のある民主主義」を実現する。そのために、政党という形態を拒否している5割をこえる有権者に、新しい形態の政治参加を提供する」ことを目標としている以上、近く本部も動きだすことと思います。

☆☆☆

そこで、それに先立って、「菅政権の公約として掲げてほしい政策」を本委員会で提案できないかと思っています。

説得力のある政策をより具体的に策定し、提案していく。これこそ、政策提言型市民運動をめざした「平成維新の会」の流れを汲む当会の、本来の姿であるとも言えます。

もし、本部の動きが遅々としているのであれば、われわれが勝手連的に、直接民主党にぶつけてもよいと思っています。

☆☆☆

そこで、会員の皆さんにもぜひ、「これは」というものがあれば、委員会宛てお寄せいただきたいと思います。どうぞ、多くの意見を、できればより具体的に私宛てにお送り下さい。お待ち申し上げております。

TEL&FAX 042(326)7229

〒187-0011 小平市鈴木町 1-498-6

会名に就いて

我々の会の名称に関して

—「関東圏市民会議」を提唱致します—

【理由】

1. 今まで使用した「平成維新」云々の名称は大前研一氏より使用しないで欲しいとの話も在るとの事で無理に使用する必要は無いと考える。
2. 一部右翼の団体が使用して居る話もあり、我々自身の目的を明確にする為に、組織内での民主的検討を経て多数決で会名を決める「治田」提案を支持する。
3. 我々の理想とする、平和と効率を中心とした世界経済を視野に入れた経済圏の確立を主体とした

新宿区 佐藤鶴次郎

連邦制度を考慮に入れた時、現在の首都圏の名称は権力的感覚が有り、あえて関東圏とした。

【目的】

1. 古くより我々の心の中に潜む「依存体質」から脱却して市民一人一人が自立して、何が平和であり何が地球と人類に対する愛情で在るかを確かめ、個々人として主張する責任を自覚する。
2. 其のために社会に問題点を摘出、提起して世論を喚起する事に勤める。
3. 世界の科学の進化と地球と生物に対する愛情を基としたあらゆる組織と手を携え力をわかちあい共に進む事を目的とする。